



薬剤師キャリアアッププログラム講座

■事業概要

厚生労働省に設置された「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」のとりまとめ(令和3年6月)において、「薬剤師の教育は大学卒業・免許取得で完結するものではなく、卒後の生涯研修が不可欠である。また、大学教員以外に職域に限らず薬剤師免許を持つ者も後進の育成に参画できる薬学教育の環境を作っていくことが必要である。」と報告されています。

昨今、少子高齢化の進展、自然災害の増加、新興感染症の流行などの様々な課題を抱える社会環境の中で、薬剤師に求められる役割も日々変化しています。さらに、近年は情報・科学技術の進展も目覚ましく、新たな技術を積極的に活用することで課題を解決する取り組みも行われています。

本プログラムは、このような社会動向、医療技術の進歩に柔軟に対応するための資質・能力を身に付けた薬剤師を養成するため、課題発見・解決能力および、多職種と協働して患者の適切な薬学的管理を実践する能力を身につけ、スペシャリストを目指す薬剤師のキャリアアップを目的としています。

アップデート講座（4講座）

現在の薬剤師を取り巻く現状及び、今後の薬剤師のあるべき姿、求められる資質・能力について学び、薬剤師にとっての生涯研鑽の必要性と、どのように生涯研鑽を実施していくべきかを認識することを目的とした講座です。

臨床推論講座（4講座）

患者が訴える主訴や症状、検査値をもとに、薬物療法の効果や副作用を評価し、他の医療従事者への情報提供に結びつける思考プロセスを学び、薬物療法の課題を発見し、解消に結びつける方策を探るための臨床推論スキルを身につける講座です。

スキルアップ講座（3講座）

各種病態の症例検討を通じて疾患治療へ薬剤師が関わる方法を理解するとともに、実習や演習を通して、関わり方に関するスキルを身につける講座です。

病態・薬物治療講座（6講座）

代表的な疾患に関する病態・治療の基礎知識、最新の治療の状況を実務家から学び、幅広い知識を身につけるための講座です。

臨床研究入門講座（7講座）

薬剤師にとっての研究活動は、医療の発展に寄与するためのエビデンスを創出するだけでなく、薬剤師業務を遂行する上で必要な幅広い能力の養成にも必要です。本講座では、薬剤師が臨床研究を始めるためのスキルや知識を身につけることを目的としています。